

ゼロ予算事業への取り組み

厳しい財政状況が続く中で、市民との協働・連携など、人件費と少額の事務費など創意工夫により「金よりも知恵を出す」事業として「ゼロ予算事業」に取り組みます。

平成 22 年度での主な取り組みは次のとおりです。

事業名 (担当部)	事業内容	区分
職員向け市政PR用小冊子の作成 (企画部)	主要な計画や特色ある施策などのポイントをまとめた職員向け市政PR用小冊子「これだけは知っておきたい市政のいま」(1,000冊)を、外注せずに作成・配布し、市政の積極的なPR等に活用する。	継続
花プロジェクト2010 (企画部)	市原市を縦断する小湊鐵道沿線に菜の花の種を播種し、咲かせることにより、地域資源である小湊鐵道をクローズアップさせ、鉄道及び沿線地域の活性化と観光スポットを創出する。 小湊鐵道に乗りし担当する各駅へ向かい、地元ボランティアや一般参加者の方々と一緒に鉄道沿線及び駅敷地に菜の花の種をまく。作業完了後、小湊鐵道に乗りし各駅から養老溪谷駅へ移動し、昼食会を実施する。春には種まきに参加した方と、開花した菜の花を見学するツアーを実施する。	継続
平和推進標語コンクール(企画部)	市内の中学生を対象に、標語の創作を通じて、平和の尊さ・世界平和の重要性についての意識を高める	継続
市民ガイド(暮らしの便利帳市原)の作成 (企画部)	隔年で制作している市民ガイドを、民間事業者との共同発行とする。経費は事業者が集めた広告料収入で賄う。	継続
ティータイムミーティング (企画部)	市民の意見を伺い市政に反映させるため、5人～10人程度の市民グループと市長がお茶を飲みながら和やかな雰囲気の中で意見交換を行う。	継続
災害協力井戸登録事業 (総務部)	災害時に生活用水の不足を補うことを目的として、市民等が保有する既存の井戸を登録してもらい、生活用水不足時にはその他の市民等へ井戸を提供してもらうための事前登録を行う。	継続
通信ボランティア登録制度(総務部)	災害時に電話回線等が不通の場合に備え、市内災害情報の入手及び市の防災拠点や避難場所等における情報伝達協力を目的として、アマチュア無線免許及び無線局を保有する市民による通信ボランティアの事前登録を行う。	継続
自主防災組織訓練指導 (総務部)	自主防災会が独自に行う防災訓練等において、要請に基づき所管地域の消防署(分署)による訓練指導を派遣する。	継続
避難所案内看板設置 (総務部)	地域防災計画における避難収容計画に基づき、災害発生時に住民等を避難場所へ迅速かつ円滑に誘導するための標識を設置するにあたり、NPO法人都市環境標識協会と協定を締結し協働事業として、民間資金並びに民間の経営及び技術的能力を導入することにより、少ない負担で質の高い市民サービスの提供に努めている。	継続

事業名 (担当部)	事業内容	区分
協働キャラバン隊事業 (市民生活部)	21年度中に策定・発行予定の「協働ガイドブック」(市民向け)を使って「協働によるまちづくり」の草の根運動を展開する。 この事業は、「協働のいちほら まちづくり会議」の委員や協働事業を行っている市民活動団体と随時アイデアを出しながら、例えば市内の各種事業や地区の集会にキャラバン隊を編成するなどして参加し、「協働によるまちづくりルールへの提言書」の1つである「市民活動に関する講座や研修の実施」の具現化を図る。	新規
市原市高齢者生活安心カード事業 (保健福祉部)	市内に居住する65歳以上の高齢者を対象に、緊急連絡先やかかりつけ医の連絡先などを記入する「市原市高齢者生活安心カード」を、希望者に無料で配布する。 生活安心カードの活用により、高齢者が外出先で急病や事故等があった場合に、発見者や救急隊による迅速かつ円滑な援護につながる。	新規
市原市精神障がい者スポーツ・レクリエーション大会 (通称:ふれリーグ) (保健福祉部)	精神科に入院している患者を対象とし、年3回公共施設(中央武道館・文化の森等)にて球技大会やピクニックを実施する。病院関係者が実行委員となり、入院患者に「院内では体験できない機会」を与えることで、社会規範習得や仲間づくりにつなげるとともに、社会復帰に対する意欲増進を図る。	継続
子育てに優しい企業顕彰 (子育て支援部)	地域社会全体で子育て家庭を支援する気運を醸成するため、従業員を対象とした子育て支援について特別な取組を実施している企業を顕彰し、その事例を広報紙、ホームページで公表する(取組事例; 企業内託児所の整備・保育料補助等の経済的支援など)。	継続
緑のカーテン事業 (環境部)	緑化の推進による二酸化炭素削減につなげる事業として市役所本庁舎をはじめ公共施設、小中学校で実施する。 また、企業や市民に取り組んでもらうためのPRを行うとともに、コンテストを実施する。苗や肥料などは、民間事業者の協力を得て無償提供してもらう。	拡充
ストップ温暖化講座 (環境部)	民生部門の温室効果ガス削減を推進するため、市民を対象に身近な温暖化対策に関する講座を開催する。	継続
いちほら i (愛) キャップ事業 (環境部)	ペットボトルのキャップを回収し、その売却益をもって世界の子どもにワクチンを届ける「エコキャップ運動」を社会福祉協議会と協力・連携して実施する。 市民のボランティア意識の醸成による地域福祉の活性化と、市民・事業者との協働による、ごみの減量化・再資源化に取り組むもの。 ○ 回収拠点 31箇所(支所等公共施設、スーパーマーケットなど)	継続
市原市ボランティア清掃 (環境部)	ボランティア団体及び市職員の積極的な協力により、国道16号線や市役所周辺等の清掃活動とポイ捨て防止の為の啓発活動を実施する。	継続
商業・観光振興のための「食」の開発プロジェクト(農商工観連携事業) (経済部)	地域に人を呼び込む観光資源の一つとして「その地域の食材を使った魅力ある食」の研究開発を行う。地産地消型にこだわった「新・ご当地グルメ」で交流人口を増やし、地域を元気にすることで、併せて商業振興も図るものである。平成22年度は、食材や実施組織等の検討を行い、実施可能かの判断を行っていく。	新規

事業名 (担当部)	事業内容	区分
農商工観連携事業 (経済部)	市内の地域経済の活性化を促進するため、経済部内で、農商工連携における検討会を設け、農協、商工会議所と連携して、分野の異なる事業者同士が手を組み、新事業を生み出す仕組みを検討する。	継続
中小企業金融サポート ガイド事業 (経済部)	中小企業者やこれから起業をする方の金融情報をサポートするため、公的な支援制度や創業計画書などの書き方を記し、問合せ先一覧などを載せた冊子を作成する。 今まで集約されていなかった公的支援の概要を一つの冊子に取りまとめることで、市内の企業に活用してもらい、もって市内中小企業の活性化を図る。	新規
障がい者職業相談 (経済部)	市内の障がい者の利便性の向上を図るため、千葉南公共職業安定所から専門の相談員を派遣してもらい、市原ワークプラザにおいて、障がい者の職業相談を実施する。	継続
就職面接会 (経済部)	市内の就労困難者の就職を促進するため、市内を中心とした事業所を募集し、就職面接会を実施する。	継続
就職支援個別相談 (経済部)	求職者及び在職者に対し、職業適性検査・職業訓練の紹介・応募書類の書き方・面接の受け方等の就職支援を市原ワークプラザにおいて実施する。	継続
ジョブカフェちば出張版 (経済部)	若年者の能力向上や就職促進を図るため、県が設置した若年者就労支援施設「ジョブカフェちば」の出張セミナーを実施する。	継続
農産物パウダー化推進 事業 (経済部)	イベントでの米粉を活用した商品の展示・販売や米粉アイデア料理レシピの配布等によるPR活動及び料理教室等での活用促進により米の消費拡大を図るとともに、米粉の安定供給のための体制づくりを進めていく。	継続
農林業男女共同参画推 進事業 (経済部)	千葉県農山漁村における男女共同参画基本方針を踏まえ、女性団体の活動支援や関係団体との連携により、家族経営協定締結や社会参画の機会を増やし、農林業に関わる女性のエンパワーメントを推進するとともに、多様な担い手等の育成・確保につなげる。 平成22年度は、新たに関係機関との担当者会議を定期的に開催し、各種協議会等での女性メンバーの登用、イベント等への女性グループのより一層の参画を推進する。	拡充
市内農産物 PR 及び販 売促進事業 (経済部)	アクアラインの通行料値下げによる利用者増加を踏まえ、海ほたるにてJA 市原市と協力のもと旬の市内産農産物の PR 及び販売を実施する。市内外の消費者に本市の特産品等を知ってもらい、味わってもらうことで、本市農業の活性化を目指す。	継続
学校給食への市内産農 産物利用拡大事業 (経済部)	市原市民に元気な笑顔を広げる地産地消推進条例及び市原市食育推進計画の目的を具現化するため、JA 市原市や教育委員会と連携し、一種類でも多くの市内産農産物を継続的に利用するためのしくみ作りを進める。	新規

事業名 (担当部)	事業内容	区分
里山活動推進事業 (経済部)	市内で活動する里山活動団体による連絡会議を開催し、情報交換や活動協力を図るとともに、各里山活動団体の活動状況やイベント等の情報発信を行い、更なる里山づくりを進める。	継続
子ども達の森林体験活動事業 (経済部)	市内の小学校 5 年生レベルの児童を対象に、林業体験活動や森林をフィールドとした各種野外活動を実施し、森林の機能や環境保全などの森林の持つ多面的機能の総合的な理解を推進する。	継続
市民と協働による街路樹診断事業 (土木部)	青葉台や桜台などの住宅地では、場所により歩道の街路樹が巨木化し、根上がりによる通行支障が出ている。また、剪定方法などについても、たびたび住民とのトラブルが発生している。このようなことから、樹木医などの専門家の意見も取り入れながら、地域住民とともに現地診断・話し合いを行い、地域との合意形成による管理の適性化を図る。	新規
耐震リフォーム活性化事業 (都市計画部)	木造住宅の耐震化をリフォームと併せて行えるよう、以下の 4 つの事業を推進する。 ①耐震リフォーム事例集を作成し、木造住宅無料耐震相談会等で閲覧できるようにする。 ②相談窓口等で、自宅のリフォームイメージをシミュレーション体験できるようなシステムを作る。 ③市内業者を育成し、多種のリフォームに対応できるよう業務の充実を図る。 ④低金利融資制度等、総合支援制度導入に向けて民間金融機関等との協議・検討を行う。	継続
国民読書年PR事業 (生涯学習部)	近年の読書離れ・活字離れに歯止めをかけるため、国会決議によって2010年が「国民読書年」と定められたことを受けて、図書館のイベントなどで「国民読書年」をPRし、市民の読書活動の推進を図る。	新規
本と雑誌のリサイクルフェア(生涯学習部)	図書館資料としての役目を終えた図書や雑誌を、年1回読書週間に合わせて無料で配布する。	継続
市原子子どもサマーキャンプ(生涯学習部)	夏休みの期間に、1泊で小学生に対しサッカーや遊びを中心としたスポーツ体験教室を行う。ジェフユナイテッドの協力を得て実施する。	継続
民俗資料展示公開事業 (生涯学習部)	市民が文化遺産に親しむとともに、市民の郷土意識の向上に資するため、JR八幡宿駅コンコースの市民ギャラリーなどにおいて、江戸時代から昭和にかけて使用された生業・生活道具などの民具資料の展示公開を行う。	継続
埋蔵文化財活用事業 (生涯学習部)	市民の文化財に対する認識や郷土意識の高揚を図るため、発掘調査の成果など埋蔵文化財をテーマにした「歴史講座」や小学生の親子を対象とした「貝アクセサリーづくり」、「泥めんこづくり」、「アンギン編み」、「土器づくり」、「火起こし」などの「ものづくり体験学習」などを実施する。	継続
「小学校出前水道教室」 (水道部)	市営水道給水区域内の小学校を対象に、「浄水処理実験(凝集沈殿実験等)」や「きき水体験」等を通して、水道に対する正しい理解と認識を深める出前教室を実施する。	新規
各種出前講座	市職員が講師として地域に出向き、市の施策の説明や講習等を行います。平成21年度末現在で88の講座メニューがあります。(平成22年度からの追加を予定する新規講座は、ゼロ予算事業として表示しています。)	継続

